

退場を。指導力不足教員を認定する制度が全国で急速に広がっており、認定を受けた教員が昨年で、過去最多となつたことが

スキャナ  
SCANNER

た。子どもが適切な教育を受ける環境を確保しようといふ機運が、ようやく高まりつつある。（東京社会部 丸山謙一、大阪社会部 吉田誠一）

本文記事1面

## 教委が判定▼模擬授業の研修

指導力不足教員の認定制度と  
よ、どんな制度なのか。全国こ

先駆けて一九九七年度から同制  
度を設けた東京都教委の易翁

問題のケースがあると、校長の

が実際に授業を見るなど、調査

されば、都教委が人事部など

の二者による判定を実施  
判断基準に照らし、医師の意見  
も聞き、指導力不足と認定する  
かどうかを決める。

## ■ 東京都の認定制度

教員の定義は、教科の知識不足や指導方法が不適切で、学習指導を適切に行えない「児童生徒の心を理解する能力、意欲に欠けており、学級運営や生活指導が適切に行えない」など。精神的な疾患と判断された場合は、認定対象にならず、病気休職扱いになるケースが多い。

認定を受けた教員は、「指導力ステップアップ研修」を受けれる。都の研修センターに週四回一年間通う「長期コース」のほか、週一回の「通所コース」、

研修 日間程度の  
「短期コ一」 認定は慎重に行つており、大  
きな問題が認められる。今年度は都内で十  
人が認定されたが、長期コ一  
が十三人と最多だ。  
研修内容は、指導主事を生徒  
にこなう「模擬授業が中心だ。  
期コースでは年に四回、在籍  
している学校で授業を行い、指  
定された教員の復帰は「なかなか難しい」(同センター)の  
が実情だ。  
都道府県によって、指導力不足  
が改善したかどうか、都  
委などに審査を受ける。一年  
が終わると、弁護士や医師を  
も審査委員会が、研修の延長  
現場復帰、教員以外への転換、  
職などの措置を決める。  
都の教員は、約六万五千人。  
う。



## 指導力不足教員の認定を始めた教育委員会と認定

が行われている東京都教職員研修センター（目黒区）

教

師

失

格

指導力不足  
289人認定

## 指導力不足教員と認定された具体例

### 【小学校】

- ・基礎的な知識、技術不足で、算数の計算問題や漢字などで間違いを教える。
- ・児童の要求を聞き入れ過ぎて振り回されている。家庭訪問が必要な時でも、電話しかしない。
- ・宿題を出して見ない。自分の価値観と感情のみを優先させて児童と接することが多い。

### 【中学校】

- ・生徒の遅達段階や学力を考慮せず、生徒の目を見て話すことができない。
- ・保護者の意見に耳を傾けず、校長の指示にも従わない。

### 【高校】

- ・授業中、生徒の方を見ない。生徒全員が教室を抜け出しても、黒板に向かって淡々と授業を続けた。
- ・生徒に声をかけられない。同僚とともに会話をせず、準備室に閉じこもる。

# 教壇で酒臭い

大阪府教委は昨年度、八人の教員を指導力不足と認定し、校外研修を命じた。

「子どもが授業が分からない」と言っている。「酒臭いまま教壇に立つ」。

府立高校で数学を担当する四十歳代の男性教員には、保護者からこうした苦情が寄せられた。注意しても改まらないため、指導力不足と認定し、府教育センターへ

## かつてタブー、意識が変化

指導力不足教員への対応が本格化したのは、九年

八年九月に、文相の諮問機関である中央教育審議会が、「適格性を欠く教員等への対応」を行うよ

う答申したことがきっかけ。背景には、九〇年代後半、全国に学級崩壊

が広がったことなどが

あった。  
問題だが、日本教師組合（日教組）も、指導力不足の認定制度自体は容認している。今回の同省の発表にも、「制度の運用に当たって、組合との協議をすること」「研修を配置するなど防止する要だ」と強調している。

勝手に立ち歩いて騒ぐ児童が

立たない状態。小学校低学年のクラスに複数の教員を配置するなど防止に取り組む自治体もある。

大阪府教委は昨年度、八人の教員を指導力不足と認定し、校外研修を命じた。

「子どもが授業が分からない」と言っている。「酒臭いまま教壇に立つ」。

府立高校で数学を担当する四十歳代の男性教員には、保護者からこうした苦情が寄せられた。注意しても改まらないため、指導力不足と認定し、府教育センターへ

# 入試が解けず

で研修させた。  
ところが、研修中、この教員の学力を試すため、今春の府立高校の入試問題（数学）を解かせたところ、

合格者の平均点を約十六点も下回る二十四点しか得なかった。結局、この教員は今年六月、「学力不足」で免職となつた。

このほかの七八については、三人が依頼退職し、三育センターで研修を受けた

## 書類を作れず

この教頭は八ヶ月間、府教

後、今年度から一般教員として別の高校に復帰している。

教員のカウンセリング経験が豊富な河村茂雄・都留文科大教授の話「指導力不足教員には、能ともとコミュニケーション力が欠けているタイプと、それほど問題がなかつたが、『現代っ子』への対応がうまくできないタイプがある。今

判定基準の開示が必要

回認定されたのは、大半が前者のタイプの教員ではないか。今後は、後者のタイプの教員も認定対象になってくるだろう。教育委員会は、まじめな教員を心理的に圧迫する事がないよう、具体的な判定基準を開示することが必要だ」

## 会議を忘れる

府教委の調査では、認定までには至らない「予備軍」が、府立学校の教員だけでも、三百人を超える

後、今年度から一般教員として別の高校に復帰している。

問題だが、日本教師組合（日教組）も、指導力不足の認定制度自体は容認している。この問題は教育現場ではタブー視されている。たが短期間でない。多くの教員は、自分意識が変わったと

内で研修させてしないでいるのが実情といい、府教委は今後も問題があれば、まずは生徒から離し、処分や校外研修などの厳しい姿勢で対処したい」と話してい